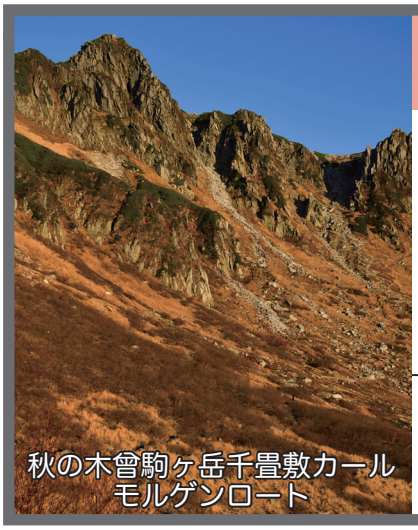

秋の木曾駒ヶ岳千畳敷カール
モルゲンロート

東京清掃労働組合退職者会機関紙

清友

No.146

2021年10月
（2021年10月11日発行）

東京清掃労働組合退職者会
〒102-0072　千代田区飯田橋3－9－3　SKプラザ5F
TEL 03（3237）9995　　FAX 03（3237）4541

岸田＝安倍・麻生のゾンビ支配政権 衆院選で自民党政治の終わりへ！

スガの政権放り投げから1ヶ月余。自民党内茶番劇の末誕生した岸田首相は、10月8日に国会で初の所信表明演説を行いました。

新しい資本主義実現を表明

岸田は、「信頼と共感を得られる政治が必要」だとして、「国民と車座の対話」や「行政の在り方を徹底的に点検する」こと、「格差」と「分断」の是正へ「成長と分配の好循環」をもたらす「新しい資本主義」を実現するとしています。また、広島出身の首相として「核兵器のない世界」へ向けて「唯一の戦争被爆国としての責務」を果たすとしています。

アベ・スガ継承姿勢鮮明

「新自由主義」が格差と分断をもたらしたという認識を示しながら、具体策では、新自由主義亜流のアベノミクスからの転換を示しませんでした。

そして、いのちを粗末にしてきたコロナ対策の問題点への反省もなく、アベ・スガ政権が「信頼と共感」を損ねた原因であるモリカケ・サクラや政治とカネの問題に切り込むこともありませんでした。

憲法改悪や安保政策など、アベ・スガ政権継承の姿勢も明らかにされました。

カネまみれの閣僚と党幹部

岸田内閣の問題点は「政治とカネ」です。自民党幹部に起用された甘利明幹事長の収賄事件、小渕優子組織運動本部長の買収とドリル事件について、報告も説明もされていません。閣僚のうち半数以上がカネをめぐる悪質な疑惑やハレンチ事件を起した経緯があると報じられています。

総裁選の論功や派閥均衡・順送り人事という悪しき自民党体質は温存されたままです。

総選挙で政治を変えよう！

何よりも問題なのは、岸田政権を安倍・麻生のゾンビコンビが裏で支配していることです。これでは、疑似政権交代の役割すら果たせません。

退職者会の目標は「いのちとくらし、人権を守る政治の確立へ向けて、自民党政治を終わらせる」ことです。立憲野党を勝利させましょう。投票日は10月31日の見込みです。

医療放棄をすすめる自民党政治の継承を許すな！
地域運動と野党共闘を強化し衆院選に勝利を！

9月29日、全水道会館で「壊憲NO！96条改悪反対連絡会議」主催の衆院選勝利へ向けた集会が開かれ、3名の方が問題提起しました。

オリ・パラ強行で医療は崩壊し、労働者使い捨て

最初の問題提起は全労協議長渡邉洋さん、「コロナ禍のオリ・パラ強行」の問題点を指摘。五輪憲章に反する商業主義が跋扈、米TV放映権の関連により猛暑下で開催され、国威発揚等政治利用されている。

東京オリ・パラは最初から問題だらけ。安倍は招致時「福島はアンダーコントロール」とウソをつき、森の女性蔑視発言、開会式企画者の差別問題も起きた。オリ・パラでコロナの感染は拡大し、医療は崩壊したが、竹中平蔵は「死者が少ないからいい」と、いのち軽視の発言。

労働強化と労働者使い捨てが横行し、都庁労働者はコロナとオリ・パラの二重苦。オリ・パラ準備対応のベテラン職員の穴埋めに非正規職員を大量採用。低賃金で働かされ、年度末で雇用打ち切り。労働者の使い捨ては許せない。

選挙独裁を打ち破れ！

2番目の問題提起は、新社会党書記長の長南博邦さんによる「選挙独裁を打ち破り、憲法を活かす政治に転換を」でした。

違憲立法が通り労働基本権が足蹴にされるのは、選挙独裁だから。民主主義ではない。

55年体制では、労働運動・市民運動が自民党独裁にクサビを打っていたが、社会党・総評ブロックが解体された。

60年代はヨーロッパ型福祉社会が目標だった。73年の高度成長破綻によりコスト削減へ転換。賃金も税も社会保障も資本の負担削減へ、「日本型福祉社会」が提起され自助社会に転換、医療の脆弱さなど、社会的基盤が崩された。小選挙区制で一党独裁になり、選挙独裁下、マスメディアも支配され、分断社会になった。

15年9月の戦争法成立過程で「野党は共闘」の発想が生まれ、野党共闘へ。総選挙だけでなく、参院選、自治体選挙が大事。地方を変えないと民主党政権の二の舞になる。

非正規廃止の運動を！

最後の問題提起は、「日本労働運動の再生」を中心に、主催団体協同代表の二瓶久勝さんが提起。

自公政権が進めてきた医療費削減政策の所為でコロナ感染自宅放置者が千人近く死に、オリ・パラ強行で医療崩壊し、一般疾病患者の入院制限も生じた。検査と医療態勢の拡充を放棄し、補償なき自粛強制のみでは、対策とはいえない。

コロナで休業・廃業は5万件を超え、失業者は実質5百万人といわれる。非正規労働者は40％になり、貧困が加速している。大企業の内部留保は475兆円、労働者の賃金は20年も横ばい。労組はストを打てず、組合員は減少、危機的状況だ。非正規の廃止へ向け、ナショナルセンターの枠を取っ払った運動が必要。

選挙は大事だが、その後の運動の継続がなければダメだ。

秋の行事は実施可能！ワクワク

10月20日のフィールドワークはまだ参加申込みが可能です

11月26日の日帰り旅行も募集開始

「緊急事態宣言」が9月末で解除され、感染者数もかなり減ってきました。どうやら、秋の行事はやれそうです。

1年1月ぶりの屋外行事です

10月20日予定のフィールドワーク「佃・月島探訪ともんじゃ」が実施できれば、屋外の行事としては19年11月の「ちよだフィールドワーク」以来、1年11月ぶりです。

現時点で15名の申込みがあり、実施決定です。もんじゃ店のキャパシティに余裕がありますので、追加は可能です。参加しようか思案中の方は、早めに申込んでください。

日帰り旅行の募集を開始

11月26日の日帰りバス旅行の参加募集を始めました。

NHK大河ドラマ「晴天を衝け」に触発されたミーハーな企画「新1万円札の顔～渋沢栄一史跡めぐりin深谷」です。参加費6千円は断然お得だと思います。また、介添者の割引きも検討しています。

ただし、コロナのリバウンドが心配です。そうならないように願いたいですね。

秋のフィールドワーク

つくだ・つきしま探訪

江戸の風情と現代が重なる街

「もんじゃ」でビール付ランチ

10月20日(水)

午前10時「月島」駅改札前集合

参加費2,000円

住吉神社

お昼はコレ

秋の親睦日帰りバス旅行

11月26日(金)

新1万円札の顔 渋沢栄一

史跡めぐり in 深谷

渋沢栄一生家

- ●池袋集合／解散
- 日帰りバス旅行
- 昼は深谷名物
- 「にぼうとう」
- ●参加費6,000円
- ◆参加する方は11月9日までに連絡を。

定期総会議案成立

コロナ禍により「書面開催」とした第13回定期総会の議案等賛否投票を、9月9日締切りで行ってきました。

投票の結果は、次のとおり。

▽会員数　108名
▽過半数　55名
▽賛　成　64名

過半数を上回る賛成をいただきました。皆さまのご協力に深く感謝申し上げます。

会費納入をよろしく

第13回定期総会（書面開催）議案の決定に基づき、会費の納入をお願いすることになりました。

会費は2千円です。「郵便振替用紙」をお送りしますので、郵便局で手続してください。

なお、大変恐縮ですが、事務費の節減のため、会費納入は郵便局の窓口ではなく極力ATMでお願いします。また、お会いした際に現金で納付していただくのが一番うれしいので、可能な方はよろしく。

福島第一原発事故の汚染水を海に流すな！

政府は、福島第一原発事故に伴い発生した「トリチウムを含むALPS処理水」の海洋放出を閣議決定しました。漁業関係者の反対を無視した決定は、原発事故被害者にさらなる犠牲を強いるものです。

処理水は安全なのか？

政府も東電も、ALPS（多核種除去装置）によりトリチウム以外の放射性物質は除去されており、トリチウムの濃度をWHO（世界保健機関）飲料水基準の7分の1程度に薄めて放出するので、環境への影響はないとしています。

トリチウムは極めて危険

トリチウムは水素と同じ化学的性質をもっています。呼吸や皮膚を通じて体内に入り、タンパク質や遺伝子の中に水素に代わって取り込まれ、容易に代謝されません。一説では15年もベータ線を出し続けるとされています。さらに問題なのは、セシウム等のようにベータ線を出して被爆させるだけではなく、トリチウムは、遺伝子そのものを破壊するという極めて危険な性質をもっていることです。

処理水ではなく「汚染水」だ

トリチウムの危険性を過小評価するのは科学的ではありません。また、ALPSは稼働中たびたび不具合をおかしており、処理水中には、地球最悪の毒物ストロンチウム等の放射性物質がかなりな濃度で残っていると報道されています。「処理水」ではなく明確に「汚染水」なのです。

放出再検討の署名にご協力を

フクシマの被害者の声を反映させるため、『トリチウムを含むALPS処理水の海洋放出方針再検討を求める署名』にご協力をお願いします。

警察権力と司法による弾圧を許すな！尾澤孝司さんをただちに釈放しろ！

争議支援の中心を担う尾澤さん

新座市に本社がある日本を代表する電気機器メーカーのサンケン電気は、労働組合を忌避して韓国の子会社「韓国サンケン」を解散、全労働者を解雇しました。これに抗して闘う韓国サンケン労組支援の運動が、全労協などにより行われ、尾澤孝司さんは「支援する会」事務局次長して、活動の中心を担ってきました。

許せない！不当逮捕・長期勾留

5月10日、新座警察署は、韓国労働委員会による和解勧告内容を伝えるため本社を訪れた尾澤さんが、社前で警備員に少し触れたことを「暴行」だとして不当逮捕、さいたま地方検察庁は「威力業務妨害」容疑を加えて起訴しました。

その後、新座警察署に5ヵ月も拘留され続け、弁護士による保釈請求も異議申し立ても却下されています。当人の体調も心配ですが、パートナーの邦子さんは癌で闘病中であり、厳しいものがあります。

全労協・東京清掃が署名開始

弾圧目的のでっち上げ逮捕、起訴した検察庁、面会すら認めない非人道的対応を続ける裁判所の無法は許せません。

全労協、東京清掃は尾澤さんの早期釈放を求めて署名活動を始めました。尾澤さんは退職者会の会員でもあります。『尾澤孝司さんの早期釈放を求める署名』にご協力をお願いします。

今年3月の東京総行動で「韓国サンケン労組支援」を訴える尾澤孝司さん

自民党総裁は誰がなってもアベ・スガ継承
今こそ本物の政権交代を！9・19行動

戦争法強行からまる6年の9月19日、国会正門前でオンライン配信併用の19日行動が開かれ、退職者会は7人参加。

自民党総裁は誰がやっても同じ

主催者は、「アベの政権放り投げから1年でスガも政権を放り出した。無責任極まるが、私たちの運動により追い詰めたという側面もある。自民党総裁選で政権からの離反を止めようとしているが、誰がやっても同じだ。コロナの失政で自宅放置のままの死亡が続出している。いのちを守る政治への転換が必要だ。市民連合と野党の政策合意を基に野党共闘で本物の政権交代を実現しよう」と訴えました。

本気の野党共闘で総選挙勝利へ

立憲野党の挨拶に続き、「立憲デモクラシーの会」「安全保障関連法に反対する学者の会」「元・自由と民主主義のための学生緊急行動」「安保関連法に反対するママの会」「市民連合」が発言。「アベ・スガ政権により壊された統治システムが機能不全を起し、隠ぺいにより民主主義が破壊されている。行政機能の再構築が必要、誰のために税を使うのかが問われている。そのためには、総選挙を本気の野党共闘で勝利することが必要」などの意見が表明されました。

10・4臨時国会開会日行動
いのちとくらし、人権を守る政権を！

岸田が首班指名を受けるためのみを目的として臨時国会が召集された10月4日昼、国会議員会館前歩道で国会開会日行動が行われました。

自宅放置のコロナ死は人災

主催者は、「オリ・パラ強行によりコロナの感染を拡大させ、医療が受けられずに亡くなる方を増大させたことは人災だ。スガが辞めても免罪されない。アベ・スガ政治の継承政権に政治は託せない。総選挙で政治を変えよう」と呼びかけました。

誰もが生きられる社会のために

集会には多数の立憲野党国会議員が駆付け、各党代表が挨拶。市民の訴えは、「市民連合」「反貧困ネットワーク」「改憲問題法律家団体連絡会」、反貧困ネットの瀬戸大作さんが「コロナ禍で20～30歳代の困窮者の度合いが増えた。福祉事務所は門前払いで、行政は頼れない。民間団体の支援には限界がある。誰もが日本で生きられ前を向いて歩ける社会にするため、政権交代が必要」と話されたことが印象に残りました。

集会に参加した立憲野党の国会議員

東京清掃第57年次地方自治研究集会

行政、市民、労働者等の意見交換で有意義な集会に

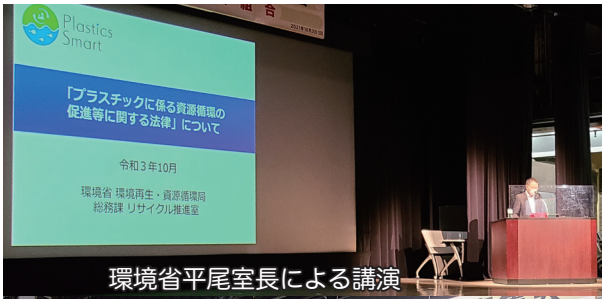
東京清掃の自治研集会が、10月3日、一橋ホール（教育会館）で開催されました。

環境省リサイクル推進室長が プラ資源循環促進法を解説

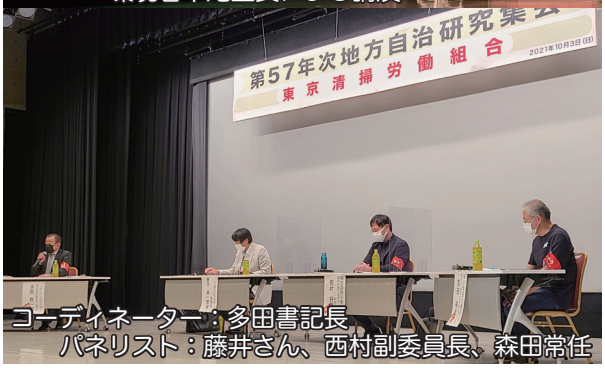
江森委員長、染自治労東京委員長の挨拶、坂部副委員長の基調提起に続き、環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室長平尾禎秀さんから「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の講演を受けました。

平尾室長は、G20「ブルー・オーシャン・ビジョン」（50年までに海洋プラごみによる追加的汚染ゼロ目標）に基づく法整備と実践でプラスチックの全量分別を目指していること、昨年6月開始の「レジ袋無料配布廃止」でレジ袋辞退率が80％に達したことなどを話されました。

集会後半はパネルディスカッション



環境省平尾室長による講演



コーディネーター：多田書記長
パネリスト：藤井さん、西村副委員長、森田常任

集会後半は、『ごみ収集とまちづくり』著者の藤井誠一郎大東文化大准教授を交えたパネルディスカッション。多田書記長のコーディネイトで「プラスチックの資源化とごみ減量」をテーマに、収集・運搬、工場における問題点や労働条件の変化など、藤井さんのアドバイスを受けながら、討論が進められました。

フロアからの発言も含め行政、市民、労働者の熱のこもった意見交換が行われ、有意義な集会になりました。（箱田）

今月から再任用準会員のみなさまへ

退職者会機関紙をお届けします

「東京清掃再任用組合員は退職者会の会員です」と言うと「えっ？そうなの」という反応が返ることが多いですね。東京清掃本部が行った「退職者会の会員拡大に向けた各支部アンケート」でも退職者会の認知度は高いとはいえません。

「準会員」ってなに？

東京清掃では、再任用組合員になると自動的に「準会員」として退職者会のメンバーになることになっています。

「準会員」って何でしょうか。

「準会員」は、▼退職者会の役員にはなれません。▼会費を納める必要はありません（組合費との二重取りをしない）。▼退職者会の行事や行動に参加しても、退職者会からは交通費が支給されません（支部からもらってください）。▼完全退職後、正会員の加入手続をとらないと自動的に退会になります。

これ以外は「正会員」と何ら変わりません。退職者会が行う行事や行動へ自由意思により参加することができます。

これからもよろしく

これまで準会員のみなさんに機関紙を届けなかったのは、物理的に作業が大変だったからです。しかし、退職者会の存在を知ってもらう必要があることから、東京清掃の協力を得て機関紙をお届けすることができるようになりました。

よろしくお願いいたします。

2019年11月29日
国立近代美術館工芸館にて